

# 教科学習Webシステム

小学校・算数（1～6年生）対象

学力向上

学習内容の定着



指導力向上

適切な支援



～働き方改革～

家庭学習の充実等

様々な活用



児童が自分のペースで学習できる

アドバイス表示

**個に応じたつまずきへの支援**

学習直し先の最終画面

分母が異なる分数のたし算は、通分してから計算します。

$\frac{9}{10}$  と  $\frac{14}{15}$  は右のような方法で通分できます。

$\frac{9}{10}$  は  $\frac{27}{30}$ 、 $\frac{14}{15}$  は  $\frac{28}{30}$  になります。

分母が異なる分数のたし算は、通分してから計算します。

公倍数の 30 を分母にします。

スモールステップで確認しながら学び直し、必要に応じてアドバイス

次に進んで、ノートに書いておきましょう。

$\frac{9}{10} + \frac{14}{15} = \frac{27}{30} + \frac{28}{30}$

$\frac{9}{10} = \frac{27}{30}$  (×3)

$\frac{14}{15} = \frac{28}{30}$  (×2)

つまずきの学び直し

**どこでつまずいているかを探る**

計算の仕方？

通分の仕方？

約分の仕方？

分数のたし算？

$\frac{9}{10} + \frac{14}{15} = \frac{27}{30} + \frac{28}{30}$

$= \frac{55}{30}$

$= \frac{11}{6}$

見て分かる

**視覚的な支援**

視覚的な支援(図・シミュレーション)が有効です

シミュレーション

タブレットで提示(個別指導)

そういうことか!

面積図

$\frac{4}{6} = \frac{2}{3} = \frac{10}{15}$

◆平行四辺形の面積は、なぜ「底辺×高さ」で求められるのか?

◆なぜ「通分」しても、分数の大きさは変わらないのか?

一人一人に応じた支援ができる

現状が分かる

**リアルタイム見届け**

授業中

①リアルタイム見届け

番号	現画面	集計	通過数	得点	配点	正答率 (%)	残り時間 (分)
12345678901	02	12	0	3	0	21	58
12345678901	01	37	48	50	99	21	12
12345678903	03	39	3	12	25	21	14
12345678908	08	27	88	36	74	21	23
12345678904	04	43	72	72	100	21	7

【画面停止時間が長い児童】…分からないまま時間が経過している児童。

【得点率が低い児童】…分からないまま学習を進めている可能性がある児童。

【異なる単元を学習している児童】…先生の指示と異なる学習をしている児童。

実態・定着が分かる

**集計・分析**

集計機能を利用して意図的な指導につながります

授業時間外

④集計表で分析

⑤教師用資料閲覧

⑥プリント問題印刷

単元ごとに設定されている目標群の達成状況が分かります。

このような「目標群」がシステムに組み込まれており、プリントアウトすることもできるので、先生方の教材研究にもなる。

練習・宿題に活用

**プリント作成**

509(問題)分数のたし算と引き算

授業時間外

④集計表で分析

⑤教師用資料閲覧

⑥プリント問題印刷

システム内の問題がプリント印刷できる。授業中に配布したり宿題として配布したりできる。

509(答え)分数のたし算と引き算

家庭等でも学習できる



家庭・地域でも学べる

授業以外でも学べる

計画的に学べる

**予習・復習**

家庭等での利用

◆家庭でも地域でも

家庭内

地域での公共施設

ネットが使える環境ならどこでもOK

今日学校でまちがえた問題ができたよ!

明日はこの学習をするのね...

家からじゃなくても使えるんだ!

**学び続ける**

時間外利用

◆昼休み・放課後・長期休業日にも

授業内

放課後

昼休み

夏休み

まだ途中だよ!

放課後に続きをやるう

P.C.平置き状態でいつでも

ボールの前後に出版等

**学校と家庭との連携**

児童の学習機会を保障

◆教室での学習が困難な場合に、学校と家庭が連携して計画的に学習を進める。

学校内からアクセス

自宅からアクセス

今、学校ではこの勉強をしているんだな。

※学習履歴が残りません